

【国立循環器病研究センターの概要】

病院名:国立研究開発法人 国立循環器病研究センター

所在地:大阪府吹田市岸部新町6番1号

病床数:一般病床 550 床

標榜診療科:心臓血管内科、心臓血管外科、脳血管内科、脳神経内科、脳神経外科、小児科、小児循環器内科、小児心臓外科、産婦人科、腎臓内科・人工透析内科、糖尿病・脂質代謝内科、内科、循環器内科、循環器リハビリテーション科、循環器救急科、移植外科、移植内科、呼吸器内科、病理診断科、放射線科、麻酔科、外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、整形外科、精神科、歯科、歯科口腔外科

<病 院 の 特 徴>

国立循環器病研究センターは、国の医療政策と一体となって循環器疾患（心臓、脳）の究明と制圧を目指す国立高度専門医療研究センター（ナショナルセンター）です。病院、研究所、オープンイノベーションセンターの三部門が連携し、循環器病に関する診断・治療、調査・研究および専門医療従事者の研修・育成を担っています。

<薬剤部運営の特徴>

国立循環器病研究センターは、高度先駆的医療はもちろん、指導的医療人の育成を目的とする、教育・研修を提供するナショナルセンターとしての使命を担っています。薬剤部においても、薬剤管理指導業務、病棟薬剤業務、チーム医療を通じて医薬品の適正使用を推進し、最適な薬物療法を提供しています。循環器疾患専門病院の特色として、強心薬、抗不整脈薬、抗血栓薬、降圧薬をはじめとする循環器病薬や、心移植、感染症治療に用いられる免疫抑制薬、抗菌薬などを日常的に数多く取り扱っています。これらの医薬品の個別最適な薬物療法を実施するため、薬剤部試験検査室では LC-MS/MS、HPLC を使用して薬物血中濃度を測定しており、最速で 30 分程度で血中濃度測定結果を解析とともに報告するなど迅速な対応で薬物治療が円滑に進むよう支援しています。外来患者への関わりでは、心臓移植外来、心不全サポートケア、腎デナベーションなどの専門外来で薬剤師がチーム一員として積極的に参画しています。また、臨床薬学研究推進に注力するとともに、病院、大学などとの連携も進めており、同時に循環器疾患の薬物治療を専門とする薬剤師育成のため、薬剤師レジデント制の導入（平成 22 年度から実施）や薬剤師研修センター、他施設薬剤師、大学薬学部学生を

受け入れ、教育・研修に力を注いでいます。中央対物業務（調剤、注射、製剤、薬務等）の非薬剤師へのタスクシフト、機械化を進めており、薬剤師が臨床業務、研究、研修業務に注力できる体制を整えています。

【業務実績（2024年度）】

1日平均処方せん枚数（内服薬、注射薬） 入院：907枚 外来：38枚

院外処方せん発行率 94.1%

薬剤管理指導患者数 1,117人/月

薬剤管理指導件数 1,354件/月

薬物血中濃度測定件数 252件/月

薬物血中濃解析件数 489件/月

医薬品情報（DI）照会件数 57件/月

取扱い医薬品数 約 1,124品目

【職員数（2026年2月現在）】

常勤薬剤師：40名（うち医療安全専従1名、AST専従1名、治験専従2名、産休育休取得者5名）、非常勤薬剤師：6名

薬剤師レジデント：5名（PGY1：2名、PGY2：3名）

常勤薬剤助手：1名、非常勤薬剤助手：8名

【研修施設認定（2026年2月現在）】

日本医療薬学会 医療薬学専門薬剤師研修施設

日本医療薬学会 薬物療法専門薬剤師研修施設

日本緩和医療薬学会 緩和ケア専門薬剤師研修施設

日本薬剤師研修センター実務研修生受入施設

【認定資格（抜粋）】

●日本医療薬学会

医療薬学専門薬剤師：5名、同指導薬剤師：2名、薬物療法指導薬剤師：1名

●日本病院薬剤師会 感染制御専門薬剤師：2名

●日本循環器学会 心不全療養指導士：4名

●日本経腸栄養静脈学会

NST 専門療法士：4名、臨床栄養代謝専門療法士【周術期・救急集中治療専門】：1名

●日本化学療法学会 抗菌化学療法認定薬剤師：3名

●日本臨床救急医学会 救急認定薬剤師：1名

●日本医薬品情報学会 医薬品情報専門薬剤師：1名

●日本アンチ・ドーピング機構 スポーツファーマシスト：2名

●日本麻酔科学会 周術期管理チーム薬剤師：3名

<見 学 時 間>

7月24日（金）14時～16時（2時間程度）

<受入れ予定人数>

10名程度

<見学者の集合場所>

2階エントランス 総合受付前（JR 岸辺駅直結）

<交 通 機 関>

JR 京都線「岸辺」駅より約 300m（連絡通路で直結）

※JR 新大阪駅（大阪コロナホテルの最寄り駅）から JR 岸辺駅までは約 7 分です

<案 内 図>

